

令和2年度 自己評価報告書

【公開版】

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン準拠

国際鍼灸専門学校

令和3年4月

項 目

- 基準 1. 教育理念・目的・育成人材像
- 基準 2. 学校運営
- 基準 3. 教育活動
- 基準 4. 学修成果
- 基準 5. 学生支援
- 基準 6. 教育環境
- 基準 7. 学生受入・募集
- 基準 8. 財務
- 基準 9. 法令順守
- 基準 10. 社会貢献地域貢献

基準 1. 教育理念・目的・育成人材像

項目	適切……………4	現 状
	ほぼ適切………3 やや不適切…2 不適切……………1	
1. 理念・目的・育成人材像は、定められているか。	④ 3 2 1	教育理念 学生と教職員が共に考え、学び、行動することで保健・医療・福祉・地域社会に貢献できる人材を育てる。 教育目標 ① 豊かな感性と高い技能・技術、誠実な態度、実践的能力を身に付ける。 ② 「鍼師、灸師、あん摩マッサージ指圧師の使命」を認識し、それにふさわしい人格者となるための教育といたわりのある奉仕的精神を養う。
2. 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。	4 ③ 2 1	外部臨床実習施設、協定企業、同窓会などの意見を聞き、専門職として必要な技術、態度を身に付けるべく実践的な教育を行っている。
3. 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか。	④ 3 2 1	教育理念、教育目標を達成するため、運営方針を2年ごとに見直している。合わせてカリキュラム編成も平成28、30年、令和元年と実施した。
3. 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	4 ③ 2 1	平成30年に「国際鍼灸専門学校ビジョン2027」の中長期計画が策定された。

①課題

・教育理念や教育目標については、学生便覧、HP、学校案内等に明記しているとともに、入学希望者には学校説明会においても説明しており、教職員・学生への周知がなされている。

・社会情勢の変化に伴う様々な問題を明確に捉え、変化が認められることについては柔軟に対応することが求められる。

②今後の改善方策

・新型コロナウイルス感染症により中止となった学校関係者評価を実施し、意見を取り入れる。

・社会情勢の変化に合わせ、中長期計画の見直しも適宜必要である。

基準 2. 学校運営

1. 理念、教育目標に沿った運営方針が策定されているか。	④ 3 2 1	運営方針は理事会及び評議員会で決定され、日常的な事項の決定は理事長、校長並びに教職員全員が出席する学校運営会議にて行われ、この意思決定に基づき各種委員会が検討し実行している。
2. 理念、教育目標、運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4 ③ 2 1	理念、教育目標を基に運営方針が策定され、毎年3月の理事会で承認される。

3. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4 ③ 2 1	組織図が規程で示され、各種会議が定期的開催されている。
4. 人事、給与に関する制度は整備されているか。	④ 3 2 1	就業規則により明確に定められている。
5. 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか。	4 ③ 2 1	各組織ごとに会議等を実施して意思の疎通を図っている。
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4 3 ② 1	法令遵守は教職員に周知し、取り組んでいるが、コンプライアンス体制の確立はまだなされていない。
7. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4 3 ② 1	必要に応じて閲覧できる状況にある。HPでの公開には至っていない。
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4 ③ 2 1	情報システムの構築を進めている。

①課題

- ・学校運営に係る組織づくりや事業計画の策定はなされているが、更に効率的で時代に合わせた体制強化が必要である。
- ・新型コロナウイルス感染症、校舎新築により今年度の計画が進まず、見直す必要がある。

②今後の改善方策

- ・役員および教職員全員によるコンプライアンス体制の確立を進める。
- ・校舎建替えに伴い、新たな校内セキュリティ対策、情報システムの構築を進める。

基準 3. 教育活動

1. 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	④ 3 2 1	教育活動は建学の精神・教育方針・目的に従って、これを反映させた「教育目標」を毎年年度初めに設定し、学校運営会議にて審議決定し教職員に周知している。
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	④ 3 2 1	厚生労働省認定規則に則し、教育目標に沿った適切な科目を選定し、学習時間を設定している。学校生活を通し、スペシャリストとしての人材育成（知識・技術・態度）を教育方針としている。

3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	④ 3 2 1	3年間における教育到達レベルを踏まえ、1年次は基礎および専門基礎分野、2年次は専門基礎および専門分野、3年次は専門分野および実践に向けた実技授業と国家試験の対策を実施している。学生アンケートを教科終了時に実施している。
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。	4 ③ 2 1	進路指導の担当専任教員及び事務が中心となって、就職セミナー、進路相談、求人受付及び求職者（学生）への求人提供を行っている。3年時には年に2回の就職セミナーを開催すると同時に在学生に対する進学・就職のアンケート調査を実施し、相談者には適時進路指導教員が対応している。
5. 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか。	4 ③ 2 1	学外臨床実習として、大学附属病院、介護施設、トレーナー施設において実習を実施している。特別授業として各分野（スポーツ、美容、訪問マッサージ）の実技、講義を行っており、訪問マッサージのインターンシップを来年度より予定している。
6. 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4 3 ② 1	今年度より学科終了時に学生アンケートを実施し、担当教員にフィードバックしている。3年生は卒業時に毎年、アンケートを実施している。
7. 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4 3 2 ①	これまで実施していない。
8. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	④ 3 2 1	シラバス、学生便覧に成績評価、進級・卒業判定の基準が明記されている。
9. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	④ 3 2 1	厚生労働省認定規則に則し、教育目標に沿った適切な科目を選定し、体系的なカリキュラムの編成を行っている。
10. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	④ 3 2 1	教員の採用に当たっては厚生労働省の学校養成施設認定規則に定める要件を有する者の採用を厳格に遵守している。専任教員は、全員が臨床経験を持つとともに、附属鍼灸治療所にて治療を実践している。
11. 関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか。	4 ③ 2 1	東洋療法学校協会や東京都各種学校専修学校協会等が主催する研修会、セミナー、全日本鍼灸学会などの学術大会への参加を推奨し、促している。
12. 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4 ③ 2 1	東京都各種学校専修学校協会が主催する研修会への参加を推奨している。

①課題

・教育活動においては、時代の変化に対応できているかを常に調査チェックし、定期的な見直しが必要である。

- ・教員は専門性を常に自ら磨き、見識を広げていく必要がある。

②今後の改善方策

- ・カリキュラム編成委員会における分析、検討を重ね、体系的なカリキュラム編成を行う。
- ・全教科の授業アンケートを実施したので、実施方法と内容の改善について検討していく。
- ・専門性の向上に向け、研修に加え自主的な活動を支援する。教員研修会、東京都各種学校専修学校協会等の研修会、セミナーを積極的に活用し、教職員全体で資質向上の取り組みを行う。

基準 4. 学修成果

1. 就職率の向上が図られているか。	4 ③ 2 1	進路指導委員長を中心に就職セミナーとして斯界のリーダーとして活躍している卒業生の特別講義を配置している。また、求人情報を常に公開し、学生に対して進路指導委員長及び各担任が進路相談を行っている。
2. 資格取得率の向上が図られているか。	4 ③ 2 1	3年生に対しては通常授業に加え、実力テストを年間2回、学校協会統一模擬試験、放課後の補講等を行い、国家試験合格率を強化している。さらに、担任による指導・補講が行われ、成績不良者の底上げを図っている。 1年次より、成績不良者には放課後に補講を行い、丁寧な学習指導をして、成績の底上げを図っている。
3. 退学率の低減が図られているか。	4 ③ 2 1	担任による成績不良者の把握と補講により1年次より個別相談、面談を実施し、成績不振の早期把握に努めている。担任による個別相談では、学生の生活習慣、学習指導等のコミュニケーションを良くして、「担任指導記録」として学生の把握に努めるだけでなく、保証人（保護者）との連絡を密にして退学および留年者の低減に努めている。 退学意思のある学生は、担任・学科長・校長が段階を追って、相談に応じ、学業の継続的な支援に向けた取り組みを行っている。経済的な理由による退学に対しては、奨学金の各種制度の活用、学費分納に関する相談等に応じている。
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4 3 ② 1	関連学会・業界の学術大会、各種研修会、講演会への積極的な参加を推奨し、各種案内の掲示を行うと同時に卒後の進路変更等、各種相談を行い、在校生及び卒業生の活動状況の把握に努めている。同窓会が発行する会誌及び年に1回の卒業生と在校生との交流会を実施している。

5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 ② 1	同窓会の活動を支援し、キャリア形成の促進に努めている。
---	---------	-----------------------------

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度新卒者のあま指師国家試験合格率は100%であり、はり及びきゅう師国家試験合格率は昨年度より回復した（93.9%）。 ・今年度は退学者が増加したが、半数以上は成績不良が原因であった。また、1年生はコロナの影響もあり、退学の前兆を把握しきれなかった。 ・新型コロナ感染症の影響を強く受け、就職に苦労する学生もみられた。就職セミナーは中止とした。
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は年末年始、国家試験直前まで補講を拡大し、合格率の回復がみられたが、国家試験合格率100%を目標に、更なる成績不良者への指導を強化する。 ・退学者への対応が遅れたこともあり、学生との面談を密にし、早期の状況把握をして退学者の減少を図る。 ・引き続き、進路指導委員長を中心にキャリア教育を進める。また同窓会との連携を強化し、卒業生とのネットワークを広げていく。

基準 5. 学生支援

1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4 ③ 2 1	求人情報は逐一学生に公開している。外部の就職説明会は積極的に学生への案内を行っている。卒業生による就職セミナーは年に2回開催予定であったが、中止とした。
2. 学生相談に関する体制は整備されているか。	4 ③ 2 1	クラス担任、進路指導委員長が窓口となり、進学や就職等の進路相談は相談室にて行い、個人情報が見守られるよう配慮し、学生が相談しやすい環境の維持に努めている。
3. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4 ③ 2 1	奨学金の各種制度の活用、学費分納に関する相談等、相談に応じている。本年度までは専門実践教育訓練給付金制度の対象講座となっており、対象者には紹介している。
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4 ③ 2 1	健康管理面では、「健康診断規程」に従ってすべての学生を対象とした健康診断が年1回行われている。入学時には胸部X線撮影を行っている。また、学校附属治療所の利用も可能である。
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4 3 ② 1	課外活動に対しては放課後の学校施設を開放できるように、必要なサポート体制の整備を進めている。

6. 学生の生活環境への支援は行われているか。	4 3 ② 1	新型コロナウイルスにより学生生活の制限が多くなり、生活環境への支援が不足した。 校内及び敷地内は全面禁煙制度を実施しており、学生の修学環境維持に努めている。
7. 保護者と適切に連携しているか。	④ 3 2 1	成績・出席に関することについては保護者に通知され、成績不振等は状況によっては担任、または担任と校長による面談を行っている。また、体調不良等の健康面についても、場合によっては保護者とも連絡を取り、対応している。担任教員は急病や事故等の緊急時における学生間及び教職員間の緊急連絡体制を確保している。
8. 卒業生への支援体制はあるか。	4 ③ 2 1	在校生及び卒業生はすべて入学時に自動的に「同窓会」に加入し、各界で活躍する卒業生のネットワークとして機能している。会員数は5,000名を超えている。年に1回「同窓会総会」が校内にて開催され、在校生との交流会、「卒業生の成功の秘訣」等の講演、パネルディスカッション等を行っている。今年度は中止。
9. 国家試験不合格者に対する支援体制はあるか。	④ 3 2 1	国家試験不合格者に対しては、聴講生として授業や国家試験対策特別補講への聴講を促している。これら聴講はすべて無料にて教育支援を行っている。また随時3年次の担任が相談を受ける体制となっている。

①課題

- ・今年度は就職準備セミナーが中止となった。
- ・学生支援は概ね実施しているが、心理的サポート体制などの課題も残っている。

②今後の改善方策

- ・新型コロナウイルスにより中止となった就職準備セミナーや就職特別講義などを再開する。
- ・心理カウンセラーや提携医療機関などの支援組織体制の整備を行う。
- ・課外活動やボランティアなどを行うにあたり、関係業団体との連携を強化し、体制整備を行う。

基準 6. 教育環境

1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	④ 3 2 1	法令に定められた教育施設、設備を備えている。建築物衛生法に従い、建屋環境を管理している。
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	4 ③ 2 1	学外臨床実習施設として大学附属病院、介護施設、トレーナー施設があり、また附属鍼灸治療所で臨床実習を実施している。 株式会社リカバリーでは訪問医療マッサージに対するインターンシップの要望が出ている。

<p>3. 防災に対する体制は整備されているか。</p>	<p>4 ③ 2 1</p>	<p>校舎建替えが終了し、施設の耐震基準を満たしており、消防施設等の点検は適切に行っている。訓練は例年4月に新入生を対象に避難訓練と称して実施しているが、コロナ対策のため10月に実施した。</p> <p>大災害発生時に備え帰宅困難時を想定した飲料水、食料、カイロ等の備蓄が図られている。</p> <p>「台風や雪などの悪天候・災害時の休校等の措置」について学生便覧に明記し、周知している。</p> <p>防災を含む危機管理マニュアルを作成し、リスク発生の事態に備えている。</p> <p>自動体外式除細動器（AED）を設置し、取扱いについて教職員を対象に講習会を開いている。また、救命講習会を卒業生（同窓会実施）及び在学生を対象として行っている。</p> <p>学内の安全対策として、教室などの備品の固定なども取り組んでいる。</p>
------------------------------	----------------	---

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・立石校舎では、新たな施設・設備の完成に向け準備を進めており、新しい体制を整える必要がある。 ・校内の避難訓練など更に防災の意識を高める必要がある。 ・コロナによりインターンシップ先の活動が縮小し、人数を増やしての実施が難しい状況。
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・立石校舎が完成し、運用における安全管理を徹底する。 ・防災関連の器具、運用などを踏まえ、防災訓練を計画し、実施する。
--

基準 7. 学生受入・募集

<p>1. 学生募集活動は、適正に行われているか。</p>	<p>4 ③ 2 1</p>	<p>高等学校に対する直接の働きかけとして、各校の進路相談会に出向いて教育活動や就職の様子等、積極的な情報提供を行っている。また、一般的な進学相談会にも参加し、募集活動を積極的に展開していたが、今年度は中止した。</p> <p>募集広報は、ホームページ、各種進学雑誌、フライヤーといった幅広い媒体において実施している。発信する情報は、事務の広報部において一元化して行っている。</p> <p>募集活動において、教育成果は国家試験合格率に留まらず、卒後の就職までと考え、広く正確に伝えている。</p>
-------------------------------	----------------	---

2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	④ 3 2 1	入学後のミスマッチを防止するため「学校説明会」「学校見学」が常時開催されており、授業体験を設けている。また、学費などの就学相談等、個別の相談コーナーも行っている。「学校説明会」では取得資格・全教科内容の説明、実技体験、在学生と交流をする機会、質疑応答等を行っている。
3. 学納金は妥当なものとなっているか。	④ 3 2 1	学納金の算定は経費（教育研究費、人件費、施設管理費等）を基礎に行い、改定の際は理事会で決定している。決定に際しては他校の水準も参考にしているが、他校に比べて低く設定している。学納金については、提供する教育内容に照らし、妥当な水準と考えている。 入学辞退者に対する対応は、文部科学省通知に基づき適正に行っている。周知は入学募集要項に記載している。

①課題

<ul style="list-style-type: none"> ・学内における募集方針の共有化は図られつつあるものの、更に推進させる必要がある。 ・競合校との差別化が十分ではない。本校の強みを分かりやすくPR する必要がある。 ・データに基づいた効率的な募集媒体の選定と学校説明会や学校見学等の参加者の出願率向上が課題である。 ・入学選考の方法 については常に検討が必要である。
--

②今後の改善方策

<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動において、学校認知とともに高校では職業理解を進め、競合校との差別化を図っていく。 ・HPの更なる改良を進め、SNS等の活用も積極的に行う。

基準 8. 財務

1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4 ③ 2 1	設備資金等は学内留保金をもって充当している。
2. 予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	④ 3 2 1	予算作成に際し、税理士の指導のもと適切に行っている。
3. 財務について会計監査が適正に行われているか。	④ 3 2 1	監事による財務検査を行うとともに会計事務所との検討会を毎月1回実施している。
4. 財務情報公開の体制整備はできているか。	4 ③ 2 1	情報開示請求時

①課題

・情報開示請求により閲覧できるようにしている。

②今後の改善方策

・分かりやすい財務情報の公表に向け、HPでの公開を目指す。

基準 9. 法令遵守

1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	④ 3 2 1	厚生労働省、文部科学省には毎年実施計画書を提出している。 学則に変更が生じた場合には遅滞なく関係省庁に届出を行っている。 関係法令・諸規則を周知する環境を整え、必要がある場合には会議や研修会等において周知徹底を図っている。
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4 ③ 2 1	学生個人調書は施錠できるキャビネットに保管し、情報の持ち出しを禁じている。 PCによる管理システムを構築し、管理している。 学生には臨床実習オリエンテーションにて、個人情報保護に関する注意および誓約書の指導を行っている。
3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4 ③ 2 1	自己評価は毎年実施している。
4. 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 ①	HPによる公開はこれまで実施していない。

①課題

・現在、学校として教職員、学生に対する「個人情報保護管理規程」及び「個人情報保護規程」等について策定する必要がある。
・自己点検・自己評価は実施しているが、HPによる結果公表は実施していない。本年度より委員会を設置し、学校関係者評価の実施も予定していたが、新型コロナウイルス感染症のため学校関係者評価は中止とした。

②今後の改善方策

・個人情報保護管理規程については管理者を選定し、内部規定の整備とともに策定を進める。
・自己点検・自己評価の内容充実を図り、委員会組織を強化し、PDCA サイクルに基づき更に改善を加えていく。
・学校関係者評価の実施を進める。

基準 10. 社会貢献地域貢献

1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	④ 3 2 1	施設・設備は、教育に支障のない範囲で公開、開放することを基本方針としている。葛飾区とは葛飾区教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係と共同で公開講座「親と子のふれあい教室」を毎年実施している。今年度は1回のみの実施とした。 また、関連する団体等に施設を貸し出し、教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を推奨している。卒業生による同窓会では年間4回ほどの利用があるが、今年度は中止となった。
2. 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4 3 2 ①	・今年度は新型コロナウイルス感染症により全て中止となった。
3. 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか。	④ 3 2 1	葛飾区教育委員会事務局生涯学習課生涯学習係と共同で公開講座「親と子のふれあい教室」を開催した。

①課題

・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により親と子のふれあい教室の1回のみが開催された。

②今後の改善方策

・感染症予防を第一に、可能なものから実施する。